

「江田島観光客倍増計画！」

～I like my town. ～(We Can! 2 Unit4)

本単元で育成する資質・能力

問題解決力・自己肯定感

日 時 平成30年11月20日(火) 第5校時
学 年 第6学年1組 (男子10名 女子4名 計 14名)

1 単元について

(1) 単元観

- 本単元では、人称代名詞“We”と、持っているか持っていないかを表す表現について扱う。

話すこと (やり取り) イ

日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

書くこと イ

自分のことや身近な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

また、新学習指導要領をうけて、上記の目標と関連した単元設定とする。

本単元は、自分たちの町や地域について考えることで、地域にある建物や施設、自然などの表現や、自分たちに関する情報を発信するための表現を学習することができる。さらに、自分たちが住む地域や町の良さや課題を考え再認識することで、地域の一員としての役割に改めて気付いたり、地域をアピールするための表現力を高めたりすることができる単元である。

(2) 児童観

- 「小学校外国語活動実施状況調査」の児童アンケートの結果(5月・9月実施)を分析すると、本学級の児童は、外国語活動の授業に意欲的に取り組んでいることが分かった。一学期の様子と比べても、英語を聞いたり話したりすることに対する抵抗感は少なくなっているように感じる。本単元に関わって、「ゆっくりはっきり英語を話されると、どのイラストや写真のことを話しているのか分かる」の項目では100%、「ゆっくりはっきり話されると、話のおおまかな内容が分かる」の項目では93%の児童が肯定的評価をしていることから、児童は「聞くこと」に関して特に抵抗感がないことが分かった。

一方で、「相手の言ったことにうなずいたり、英語で返事をしたりしている。(79%)」「会話が続くように知っている表現を使うようにしている。(86%)」と「話すこと(やり取り)」に関する項目では、比較的肯定的評価が低かった。また、「英語を書くときには、英語の書き方の決まりを守って書いている。(71%)」「英語を書くときには、単語を並べる順番を考えながら書いている。(71%)」の「書くこと」については、一番低い評価であった。英語を使ったやり取りと英語を書くことについて授業改善の手立てを講じる必要がある。

(3) 指導観

- 指導に当たっては、「児童の聞く力を生かし、児童が表現したい語彙に十分に慣れ親しませること。」「自信を持って十分に慣れ親しませた語彙や表現を活用させるために、やり取りのモデルを提示したり、児童により良いコミュニケーションの工夫を考えさせたりしながら、やり取りの量を増やすこと。」「十分に音声で慣れ親しんだ表現を使って、例文を参考にしながら少しずつ書くこと」を取り入れた単元計画、授業計画を立てることが必要であると考える。

本単元を通して、話すことから書くことに繋げるために、次の点に留意した指導を行う。

- ① 初めて出会う英語の音や文字でも、意味が簡単に類推できるように、地域や町など身の回りにあるものを学習教材として取り上げたり、身の回りのものと英語の音声や文字を結びつけることができるように、イラストや写真を提示したりする。
- ② HRT・ALTと児童とのやり取りの機会を増やし、自然と学習する語彙や表現を聞く機会を増やす。またそのやり取りの中で、児童が表現したいが言い方が分からない語彙を導入し、表現力の向上につなげる。
- ③ 単純な英語を繰り返し練習するような活動ではなく、児童が「伝えたい。」「言いたい。」と思えるような発話する必然性のある文脈を設定することで、コミュニケーションの楽しさや面白さを経験できる機会を多く設定する。
- ④ ワークシートを習熟度別に用意し、児童の書くことの実態に応じた学習を選択できるようにすることで、書くことについての意欲を高める。

本単元の最後には、「江田島に観光客をもっと呼ぶための提案をするポスターを作る」という活動を設定し、児童が住む江田島の自慢や、観光客をよぶためにあったら良いと思う施設や建物を考えポスターにまとめる活動を行う。単元のゴールに向けて、第1時では、江田島の観光計画を元に、児童に課題意識を持たせるだけでなく、ポスターの具体例を提示し、学習への意欲付けを行う。第2時から第6時では、教師と児童のやり取りのなかで表現したい語彙を増やし、ポスターを作るうえで必要な文を少しずつ書き溜めるようにする。第7時では、つくったポスターを読み合う活動を通して、その児童が伝えなかったことを読み取ることができる活動を設定する。単元構成を逆向き設計し、児童に付けたい力を明確にした活動を行うことで、アンケートから分かった課題を解消したい。

2 単元構成について

単元目標	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
	相手に配慮しながら、地域の良さや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合う。	施設や欲しいものを尋ねたり答えたりする言い方や、よさを伝える言い方に慣れ親しむ。	例文を参考に、表現したい文を書き写すことで、英語と日本語の語順の違いに気付く。
言語材料 (下線：新出)	【表現】 <u>We have / don't have (a park).</u> We can (<u>see many flowers</u>). <u>We can enjoy [fishing / shopping / swimming].</u> I want [a library / a park]. (<u>Sakura</u> is nice). 【語彙】 施設・建物・状態・気持ち・飲食物・動作・スポーツ		



児童の 目指すべき 姿	外国語に関する技能				資質・能力	
	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと	自己肯定感	問題解決力
	地域の特徴や良さ・課題を伝える表現を聞き、おおまかな意味や内容を聞き取っている。	十分に慣れ親しんだ表現について、読んでいる。	地域のよさや課題を、自分の考えや気持ちを含めて伝え合っている。	地域のよさや課題について、語順を意識しながら、文の一部を変えて書き写している。	意欲的に、できることやできないことを考えたり、学習した表現を使い、一生懸命相手に伝えたりしようとしている。	学習したことを元に、必要な情報を整理しながら、何をどのように伝えたらよいかを思考・判断し、表現することで、課題を解決している。



単元のゴール	☆ ALTや友達に、自分の住む地域の良さや課題をポスターにまとめ伝える。
	【発表の例】 Etajima is good. We have (a park). We have (a library). We don't have (aquariums). I want (a big aquarium). (地域にある施設やない施設、あったらいい施設などを踏まえ、5文程度のポスター作成)

単元計画 (・めあて) ・☆Small Talk ・【聞】【話】【書】【読】 ・本時で学習する表現)

時	学習内容 (□は使用表現, ○は活動例)	評価の観点			評価規準	評価方法	
		コ	慣	言			
課題の設定	1	<p>めあて 世界の名所をめぐる。</p> <p>☆Small Talk: 単元のゴールの明示+施設・建物の名前</p> <p>【聞】 音声を聞いて, 建物・施設の名前に慣れ親しむ。</p> <p>○Let's Listen1 ○What do you like?(やり取り)</p> <p>S1: What do you like? S2: I like (Ferris wheel). Do you like (Ferris wheel)? S1: Yes, I do. I like (Ferris wheel). S2: I see. / OK. / Sounds good.</p>		○		●英語の音声を聞いて, 建物・施設の名前とイラストを結びつけている。	行動観察 振り返り カード
	2	<p>めあて 江田島にあるもの?ないもの?</p> <p>☆Small Talk: ALT や HRT の地元について。</p> <p>【聞】 ALT や HRT の話を聞き, ある施設やない施設を表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>【話】 We have / don't have の表現を使い, 地域にあるものやないものを伝えようとしている。</p> <p>○Let's Listen 2 ○インタビュー(TS / SS)</p> <p>T: What do you have in Etajima? S1: We have (a hot spring). S2: We don't have (a port). *やり取りを通して語彙力を深める</p>		○		●江田島にある施設やない施設を, We を使って伝え合っている。	行動観察 振り返り カード
	3	<p>めあて 江田島のよさって何?①</p> <p>☆Small Talk: ALT や HRT の地元について。</p> <p>【聞】 ALT や HRT の話を聞き, 地域のよさを聞き取っている。</p> <p>【話】 can の表現を使い, 地域のよさを伝えようとしている。</p> <p>○語順の並び替え ○Let's Listen3</p> <p>T: What is good point in Etajima? S: We have mountains. T: Why? S: We can enjoy beautiful nature.</p>			○	●江田島のよさを考え, We や can の表現を使って伝え合っている。	行動観察 振り返り カード
情報収集							

4	<p>めあて 江田島のよさって何?②</p> <p>☆Small Talk: ALT や HRT の地元について。</p> <p>【聞】 ALT や HRT の話を聞き、地域のよさを聞き取っている。</p> <p>【書】 can の表現を使い、地域のよさ2つ以上を書き写している。</p> <p>○語順の並び替え(前時までの表現) ○インタビュー</p>		○	<p>●江田島のよさを考え、We や can の表現を使って書いている。</p>	<p>行動観察 振り返り カード</p>
5 (本時)	<p>めあて 江田島には何が必要かな?</p> <p>☆Small Talk: ALT や HRT の地域について(欲しいもの)</p> <p>【話】 want の表現を使い、地域に必要な施設などを伝え合おうとしている。</p> <p>【書】 例文を参考にしながら、江田島に必要なだと思う施設などを書き写している。</p> <p>○Let's watch and think1 ○ポスター作り</p>		○	<p>●江田島に必要なものを考え、want を使って伝え合ったり、書き写したりしている。</p>	<p>行動観察 振り返り カード</p>
6	<p>めあて ポスターを作ろう。</p> <p>☆Small Talk: ALT や HRT の憧れの人についての発表</p> <p>【読】 十分に慣れ親しんだ建物・施設の表現や、We have / don't have の表現を読んでいる。</p> <p>【書】 伝えたいことに応じて必要な語句を選び、江田島のよさを伝える文を書き写している。</p> <p>○インタビュー ○ポスター作り</p>		○	<p>●相手に良く伝わるように、文章構成を工夫している。</p>	<p>行動観察 振り返り カード</p>
<p>Etajima is good. We have (a park). We have (a library). We don't have (aquariums). I want (a big aquarium). (地域にある施設やない施設、あったらいい施設などを踏まえ、5文程度のポスター作成)</p>					

まとめ・創造・表現	7	めあて 江田島改善計画！ ☆Small Talk ： 地域紹介について 【聞】 友達の発表を聞いて，地域のよさや課題を聞き取り，大まかな内容を捉えようとしている。 【話】 伝えたいことに応じて必要な語句を選び，地域のよさや課題を発表している。 ○ポスター発表	○	●相手に配慮しながら，ポスターをつかった発表している。	行動観察 振り返り カード 作品
		Etajima is good. We have (a park). We have (a library). We don't have (aquariums). I want (a big aquarium). (地域にある施設やない施設，あったらいい施設などを踏まえ，5文程度のポスター作成)			

ポスター例

Make Etajima better!

Good point

We have mountains. We have the sea.
We have Yume town. We have oysters.

Change point

We don't have aquariums.

We don't have museums.

I want a big aquarium.

I want a museum.

江田島の良いと思うことを書く。
学習の中で書き溜めさせる。
(第2時・第4時)

江田島で改善したいと思うことを書く。
学習の中で書き溜めさせる。
(第5時)

江田島に必要だと思うことを書く。
学習の中で書き溜めさせる。
(第5時)

4 本時の展開

(1) 本時の目標

○観光客をよぶために必要な施設を考え、友達に伝えたり文を書いたりすることに慣れ親しむ。

・江田島に必要な施設などを、例文を参考にしながら書こうとしている。【書】

・江田島に必要な施設を考え、友達に伝えようとしている。【話】

(2) 本時の評価規準

江田島に必要なものを考え、want を使って伝え合ったり、文を書き写したりしている。

【外国語への慣れ親しみ】

(3) 本時で育成したい資質・能力

問題解決力 **自己肯定感**

(4) 学習の流れ

過程	学習サイクル	児童の学習活動	指導者の活動		・指導上の留意点 ○具体的評価規準 (評価方法)
			T1	T2 (ALT)	
導入 (Introduction)	ステップ 1 (考えをもつ)	1 Greeting 挨拶をして学習の雰囲気作りをする。	Good afternoon! How are you?	Good afternoon!	・既習事項を活用したテーマ設定にする。 ・キーフレーズを視覚化するため板書掲示をする。
		2 Chat 写真を見て、必要な施設などを考えて伝え合う。(T/S)	Let's talk with 3 people.	Look at the picture. What do you want for this town?	
		3 Small Talk T1 と T2 のやり取りを聞き課題を類推する。	T1: My hometown is Hiroshima city. Hiroshima city is great. We have a museum. We have a pool. We have a big park. We don't have a Ferris wheel. We don't have an amusement park. I want a big amusement park. T2: My home town is _____. _____ is great. We have _____. We don't have _____. I want _____.		
		4 Today's goal 本時のめあてを確認する。	Check today's goal.		
		江田島には何が必要かな？			

展開 (development)	ステップ2 (伝える) ↓ ステップ3 (考えを深める)	<p>5 Activity</p> <p>○Listening</p> <p>・ Let's watch and think1 映像を見て、必要な施設を聞き取る。</p> <p>○Speaking</p> <p>・ やり取り 江田島に必要な施設を友達や先生と伝え合う。</p> <p>○Writing</p> <p>やり取りしたことを踏まえて、ポスター作成に必要な文を、例文を参考にしながら書き写す。</p>	<p>Let's listen and watch.</p> <p>What do you want for Etajima?</p> <p>Let's write sentences.</p>	<p>*help teacher</p> <p>*Rerword what STs describe.</p> <p>*Help STs make a poster.</p>	<p>・ 既習事項の絵カードや文字を掲示し、文字や絵と音声結びつけるようにする。</p>
まとめ (summary)	振り返り	<p>6 Reflection</p> <p>本時の学習について、活動面と言語面での振り返りをする。</p> <p>7 Greeting</p> <p>挨拶をして余韻を持って学習を終える。</p>	<p>Write 振り返り card.</p> <p>That's all for today.</p> <p>Thank you!</p> <p>See you!</p>	<p>Thank you!</p> <p>See you!</p>	<p>●江田島に必要なものを考え、want を使って伝え合ったり、文を書き写したりしている【慣】(行動観察・振り返り・ワークシート)</p>

(5) 板書計画

Big Smile

Eye Contact

Clear Voice

Today's Goal

11/20 江田島には何が必要かな？

施設や建物の
絵カード

Etajima is good.

↓ Why? (どうして?)

We have _____.

We can see _____.

play _____.

enjoy _____.

もっと観光客を呼ぶために！

↓

We don't have _____.

I want _____.